

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日(主幹等)	31年3月31日
2次評価日(課長等)	31年3月31日

# 事務事業評価表(一般事業)

1 事業名	読書普及活動事業	コード	103205
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習課(図書館)	作成者 伊藤 史佳
--------	--------	---------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	生涯学習の推進	施策	社会教育の充実
		予算科目	読書普及活動費	業務委託	なし(直営)
		実施義務	あり(義務的・標準的事業)	国県補助	なし
		根拠法令	図書館法(第1条:図書館の設置及び運営について必要な事項を定める。)		

## ●事業の内容(D0)

4 事業の概要等	*対象者(誰のため)、意図(どのような状態にしたいのか)		
事業の概要(簡潔に)	おはなし会やイベント、講座等の開催により図書館を身近な存在にし、読書普及を図る。		
目的	対象者	市民	
	意図	読書普及活動を通じて子どもから一般市民まで、読書に関する意欲を喚起する。	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>1 第3次岡谷市子ども読書活動推進計画策定委員会 6/28、7/31、10/10、11/29、2/27 計5回 ・専門部会 9/14、9/20 計2回</p> <p>2 おはなしの森等</p> <p>①おはなしの森&lt;毎週土曜日&gt;・ちいさなおはなしの森&lt;毎月第3火曜日&gt;・日曜日のちいさなおはなしの森&lt;5/27・12/9・1/27&gt; 開催数 10回 参加人数 <b>684人</b></p> <p>②春だよ!スペシャル 参加人数 延べ <b>21人</b> ・エプロンシアター、絵本読み聞かせ、パネルシアター、岡谷東高校ボランティア部による大型絵本の読み聞かせ等 4/21 ・としょかんオリエンテーリング 4/21~4/22</p> <p>③夏休み特集おはなしの森 8/8参加人数 <b>11人</b> ④こわ〜いおはなしの森 8/4参加人数 <b>21人</b> ⑤クリスマス特集 12/22参加人数 <b>34人</b></p> <p>3 「うち読でエコ読」事業 ・広報への掲載、うち読本コーナーの設置</p> <p>4 ファーストブックプレゼント事業(10ヶ月児健診時配布) ・配布数 <b>319冊</b></p> <p>5 子ども工作教室(夏)7/28 参加人数 <b>25人</b>、(冬)1/26 参加人数 <b>16人</b></p> <p>6 としょかん子ども読書まつり&lt;10/27~10/28&gt; ・関係11団体との協力事業 参加人数 延べ <b>601人</b></p> <p>7 としょかんキッズ(1日図書館員)・小学4年生から高校生対象 参加人数 <b>22人</b>&lt;※夏休み図書館キッズ12人、春休み図書館キッズ10人&gt;</p> <p>8 おやこルームの開設 ・会議室の空いている時間を開放 利用者 <b>22人</b></p> <p>9 職員派遣等による普及活動 ・乳幼児学級、乳幼児サークル、10ヶ月健診での読み聞かせ 18回 参加人数 <b>447人</b></p> <p>10 子ども読書会議 8/3 ・市内7小学校の図書委員、中学生 参加人数 <b>24人</b>(小学生17人、中学生7人)</p> <p>11 むいぐるみのおとまり会 11/17~11/18 参加人数 <b>26人</b></p> <p>12 まちかど図書館事業</p> <p>①市内公共施設に設置(ロマネット、諏訪湖ハイツ、生涯学習活動センター、勤労青少年ホーム、市役所ロビー、市民総合体育館、美術考古館)</p> <p>②出張まちかど図書館(確定申告会場)</p> <p>13 図書リサイクル事業(読書サークル協議会との協働事業) 9/30 ・リサイクル図書数 1,384冊 来館者数 延べ <b>179人</b></p> <p>14 本の福袋 1/4~1/25(※無くなり次第...3週間) 255冊</p> <p>15 読み聞かせ講座・講演会(おはなしだいすきポポーの木事業) ・6/23(80人)・7/21(15人)・2/9(80人) 参加人数 延べ <b>175人</b></p> <p>16 図書館DE講座(兼テーマブックコーナー) ・食育月間 5/26~6/28 ・男女共同参画週間 6/23~29 ・岡谷市防災の日 7月 ・健康増進月間 9/13~9/27</p> <p>17 読み聞かせ、行事、一般業務ボランティア 参加人数 延べ <b>180人</b></p> <p>18 図書館はつらつ来(らい) ぶらり講座 第1回 6/3(もと こどものための語りの会) 参加人数 <b>14人</b> 第2回12/16(絵本と弦楽のコラボレーション) 参加人数 <b>31人</b></p>			
前年度の課題への対応	幅広い年齢層に親しまれる図書館として開催した、高齢者向け講座「はつらつ来(らい)ぶらり講座」を読書活動ボランティア団体「おはなしだいすきポポーの木」とのタイアップ事業として行ったことで、ボランティア団体との協働が図れ、講座内容やPR活動などに相乗効果が得られた。		

6 指標の達成状況	*活動指標:この事業の規模、成果指標:この事業によって得られる住民の満足度			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 活動指標(指標名)	読書普及活動事業の開催数			単位 回
実績値	96	99	101	
*指標の説明	市民を対象とした読書普及活動事業の開催数			
② 成果指標(指標名)	事業への参加人数			単位 人
目標値	4,400	4,000	4,000	4,000

実績値	3,632	3,050	2,852	
達成度	82.5%	76.3%	71.3%	
* 指標の説明	市民を対象とした事業への参加人数			
* 目標値の設定方法の説明	過去3年間の参加人数の最高値			

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	308,760	130,801	69,787	71,000
経常経費	308,760	130,801	69,787	71,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	4,800,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000
正規職員の人数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60
③ 合計コスト(①+②)	5,108,760	4,930,801	4,869,787	4,871,000
前年度比		96.5%	98.8%	100.0%
財源	5,108,760	4,930,801	4,869,787	4,871,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	53,216	49,806	48,216	
前年度比		93.6%	96.8%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額 0 割合 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 93.5%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 71.3%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館との連携を行い、本の流通経路を拡充するなどの読書環境整備が必要である。</li> <li>・発達段階や年齢層に即した読書機会や情報の提供を、地元書店や地元企業と共に展開することを模索する必要がある。</li> <li>・読書活動ボランティアや地域住民に図書館事業へ参画いただき（市民総参加型図書館として）「滞在型図書館」「課題解決型図書館」を構築するための調査研究が必要である。</li> </ul>
	<p>(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校の学校図書館に「市立岡谷図書館返却ポスト」を設置する。</li> <li>・子ども読書会議の中で、不読率の高い中高生が興味や関心を抱ける「ビブリオバトル」を開催する。</li> <li>・毎週土曜日に実施している「おはなしの森」を研修の場として、読書活動ボランティア活動を子ども達へ伝え、読書リーダーを養成する講座を実施する。</li> </ul>
改善方法	
改善開始時期	2019年度中

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---